

ワンニャン通信6月号

担当：松本

今回はSFTS(重症熱性血小板減少症候群)についてです



SFTSとは・・・

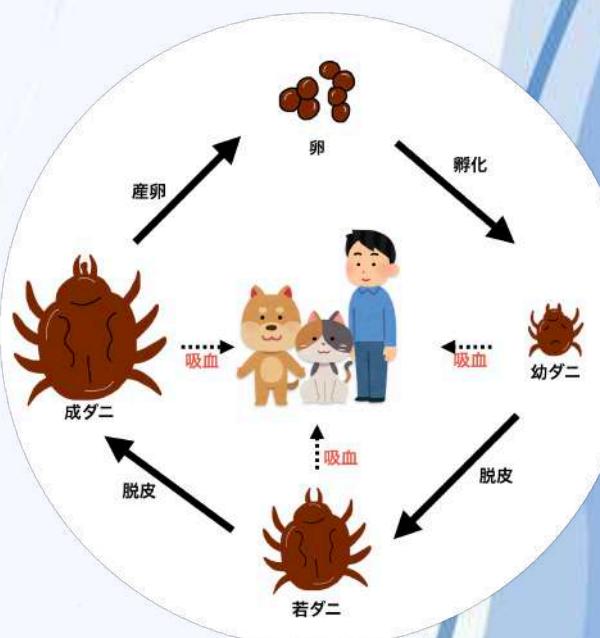
- 「重症熱性血小板減少症候群」とい、SFTSウイルスによる感染症のこと
- SFTSウイルスを持ったマダニに咬まれることで、人や犬猫などの動物が感染する人獣共通感染症の一つ
- 直接マダニに咬まれなくても、SFTSウイルスに感染している動物の体液などから感染することもある
- 主な症状は発熱、元気食欲低下、黄疸、血小板減少など

マダニはどんな生き物？？



- クモやサソリと同じ節足動物で、動物の血液を吸って生きている
- 主な生息環境は山の中や草むら、おうちの庭、畑など様々な場所に生息
- マダニのほとんどは春～秋(3月～11月)にかけて、活動が活発になる
- 大量に寄生するとたくさん吸血され貧血を引き起こすことも
- SFTS以外にもライム病やダニ媒介性脳炎など様々な感染症を媒介

マダニのライフサイクル



治療

SFTSウイルスには直接退治する薬や治療法は今現在はありません。そのため、脱水症状の見られるこには点滴や静脈注射などで水分や電解質、栄養を補うなど症状に応じて**対症療法**が主な治療となります。



予防

●定期的なマダニ駆虫薬の投与

犬や猫にマダニの付着を防ぎ、感染のリスクを減らす事ができます

●マダニの生息している草むらなどになるべく行かない

マダニの駆虫薬をつけていても、咬まれてしまうと感染してしまう恐れがあります。また散歩をした後はブラッシングなどでマダニが付着していないか確認しましょう



今回はSFTSについてまとめてみました。

あまり聞いたことのない感染症だと思いますが、実際唐津でも感染の報告もあります。

SFTSは致死率が犬では約40%、猫では約60%、人では約27%と最悪死に至る怖い感染症です。しっかり予防ていきましょう。

マダニの駆虫薬は当院でも販売していますので、いつでもスタッフにご相談ください。

